

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

労農連帯の責務にかけて、闘う三里塚農民を断固として守り闘う

卑劣な「話し合い」路線＝同盟解体攻撃粉砕！ 3・28三里塚への巨万結集を実現しよう

全ての組合員の皆さん、全国の『日刊』読者の皆さん、三里塚はいよいよ二期をめぐる激烈な決戦場へと突入してまいります。

既に『日刊』で報告してきたように、追いつめられ焦った敵は政府・空港公団は、遂に昨年末、公然と、三里塚闘争の柱である同盟農民に対し、卑劣で凶暴な組織分断・解体攻撃にうって出てきました。すなわち、「強制代執行にでもなったら元も子も無くなるぞ」「今のうちに条件闘争に切りかえた方が得だよ」「ボタンのかけちがいを直した」「話が、どうすればよいか、話し合いたい」などと、権力と金力をかさにきた恫喝とペテン的な甘言をもって、反対同盟農民に基本路線の転向を強要し、土地・家屋の強奪

を狙う悪らつな攻撃を開始したのであります。こんな横暴、卑劣な農民追い出しは、殺攻撃をどうして許せるでしょうか！私達、勤労千葉一三〇〇労働者は、17年間に亘る三里塚闘争勝利の地平、血と汗で築き上げてきた偉大な労農連帯の矜持にかけて、敵の総力をかけたこの攻撃を粉砕するために総決起することをはっきりと宣言します。

三里塚反対同盟農民にいかなる悪らつ卑劣な攻撃をかけ、分断を策そうとも、非妥協に闘う反対同盟農民とわれわれの労農連帯のきづなを、なんびとたりとも破壊することはできない。いや、絶対にさせはしない！

反撃は開始された

反対同盟は、敷地内を先頭として、直ちに激烈な反撃戦に立ち上っています。

昨年12月25日、再三にわたって乗りこもうと画策した二期推進の最高責任者である運輸省審議官・服部を一喝のもとにキツパリと叩き出した天神峰の小川喜平さん、小川嘉吉さんの断固たる闘いを突破口に、つぎつぎと怒りの決起がまき起ります。

反対同盟は12月27日「空若絶対反対・一切の話し合い拒否」の態度を鮮明にした弾劾声明を発し、全国の闘う労農学人民に「今こそ総力で三里塚へ！」の訴えを發しました。そして年明けと共に、1月10日「反対同盟団結旗掲げ」、17日「天神峰現陣本部1200の団結や

ぐら建て・20畳の大看板建て」を意気高く闘いとり、更に22日には、二期絶対阻止・話し合い拒否の決意も固く敷地内(天神峰)の加藤清さん宅敷地内に堂々たる「大農作業場」が建設され、続いて31日には辺田部落に「青年行動隊の新たな団結小屋」の建て前が、いずれも多くの反対同盟と支援の自前の力でした。

全国の『日刊』読者の皆さん、この不屈の反対同盟魂に今こそ全力で応え、全国津々浦々から「二期絶対阻止！話し合い路線粉砕！闘う反対同盟を守れ！今こそ全力で三里塚へ！」の大運動をまき起していきましょう。3・6勤労千葉主催・全国

服部を断固撃退

(天神峰)小川嘉吉さん
昨年の暮服部を送りこんできたが、私の理にかなった反撃で、敗退したというのが実情でございませう。今後16年向たかかってきたことを無駄にすることなく、また、みなさんの御支援を裏切ることなくがんばってゆきたいと思っております。

怒りをもって、毎日をたたか

あつ(天神峰)小川喜平さん
責任ある者は責任をはたさなければならぬ。運輸省の服部が、私の家に来たが私は私のやるべきことをやりました。戸村さんは、どんな場合でも敵と談合したら敗けたと言った。われわれのやることは、怒りをもって、毎日毎日闘うことだと思っ

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！